

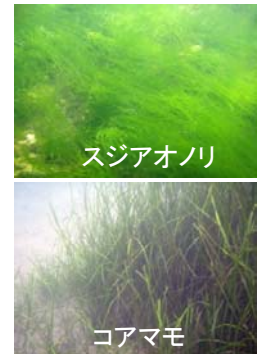
## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：四万十川自然再生事業 ～魚のゆりかごづくり～	
水系／河川名：渡川水系／四万十川	河川分類：大河川
河川の流域面積：2186km <sup>2</sup>	整備計画流量：13400m <sup>3</sup> /s(W=1/30) セグメント：2
事業：環境整備	事業開始年度 平成23年度
目標設定：定量的	段階：D(実施・施工時)
課題・目的(主な)：干潟、浅場の保全・再生・創出、アマモ場の保全・再生・創出	
工法(主な)：掘削(高水敷)、掘削(河床)	
配慮事項(主な)：河川景観への配慮	

### 背景・課題、目標設定

人と自然とが共生できていた昭和40年代の四万十川の原風景の保全・再生を目指し「四万十川自然再生事業」に取り組んでいる。

河口域では、貴重な水産資源であるスジアオノリの漁獲量や、稚魚が育つ場所であるコアマモ場が減少しているため、スジアオノリやコアマモが生育できる浅場の再生を目的に「魚のゆりかごづくり」を実施している。

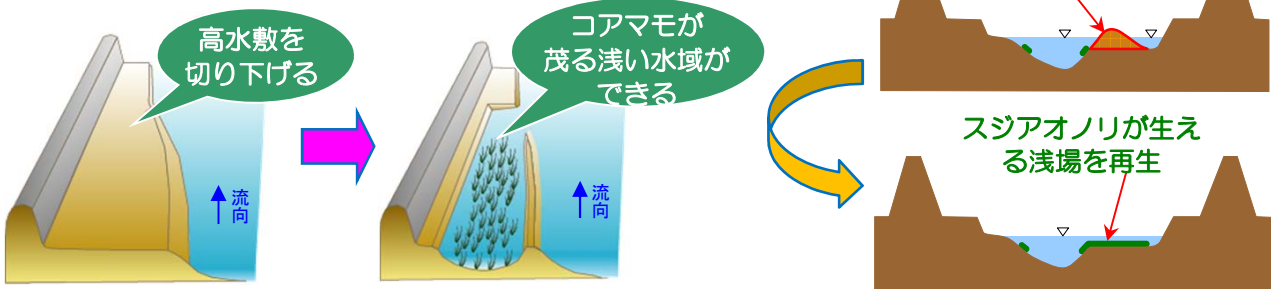


#### 【目標設定】

- ◆コアマモ場11haの創出
- ◆スジアオノリ場16haの創出

### 取り組み内容・対策例

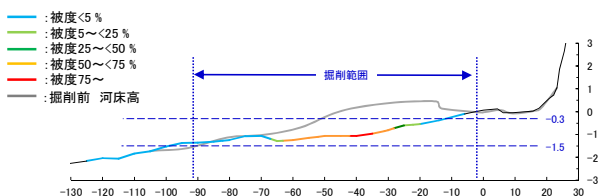
高水敷や砂州の高くなりすぎている部分を、コアマモやスジアオノリ等の成長・生育に適した水位まで切下げて浅場を復元し、汽水域本来の生態系を再生する。



### モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

#### ◆モニタリング結果

砂州を切下げた範囲でスジアオノリの繁茂を確認(下のグラフ)。また、掘削箇所でスジアオノリの収穫が行われるなど漁業関係者からも好評を得ている。



#### ◆アピールポイント

行政・市民・学識と協働・連携しながら事業を進めている。

#### ◆今後の対応方針

##### <コアマモ場の再生>

今年度、試験施工が完了。コアマモの移植を行い、モニタリングを行うとともに、順次他箇所へ展開していく。

##### <スジアオノリ場の再生>

試験施工で効果が確認された。既施工箇所のモニタリングを行いながら、他箇所へ展開し漁獲量の増を目指す。

### 備考